



さいちゃんの

環境通信

Vol.32

2022.2 発行



緊

急!

世界の平均気温 上昇が止まらない！

驚

愕!

地球が異常気象に覆われ始めている！

「ZERO ぜ ろ カ ー ボ ン シ ン テ」



「CITY」

— さいたま市

このままでは
地球があぶない



二酸化炭素が増えると…

人間の活動に起因して温室効果ガスが大気中に増え、地球全体の平均気温が上昇し続けます。こうした地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

気候変動を抑えるためには、省エネや節電を行うとともに、再生可能エネルギーを活用し温室効果ガスの排出を抑制しなければなりません。脱炭素社会実現のために、“今できること”を考え、行動しましょう。

ゼロカーボンシティは、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す旨を首長自らが又は地方公共団体として表明した地方公共団体のことです。

出典：環境省「2050年ゼロカーボンシティの表明について」



ゼロカーボンシティさいたま市

2050年二酸化炭素 排出実質ゼロを目指して

さいたま市は二酸化炭素排出実質ゼロを目指して
様々なアクションを起こしています。
皆さんも未来に向けてアクションを——

写真提供：さいたま観光国際協会

みんなで
アクション
ともに
未来へ
さいたま市気候非常事態宣言



市民・事業者などあらゆる主体が一丸となって脱炭素社会に向けた持続可能な
都市の実現を目指して行動することを呼びかけています。



[https://youtu.be/
oapixFy9DJug](https://youtu.be/oapixFy9DJug)



令和3年5月7日
気候非常事態を宣言



写真：太陽光パネル

温暖化対策の推進



グループパワーで、かしこくチョイス。
未来へつなぐおトクな一歩。

「みんなでいっしょに自然の電気」キャンペーン



<https://group-buy.metro.tokyo.lg.jp/energy/shutoken/home>

さいたま再エネプロジェクト
～選ぼう、再エネ～



<https://www.city.saitama.jp/001/009/015/011/002/p077408.html>

COOL CHOICE
クールチョイス



未来のためは、いま選ぼう。



省エネ・低炭素製品の購入

<https://www.city.saitama.jp/001/009/001/p050530.html>

エネルギーの地産地消

再生可能エネルギー等に係る補助金制度

※補助金は予算内での実施となるため、今年度終了している場合があります。

「スマートホーム推進・創って減らす」
機器設置補助金

家庭向け▶

太陽光発電設備、蓄電池、家庭用燃料電池など

創エネ・蓄エネ設備導入補助金

事業者向け▶

太陽光発電設備、蓄電池

電気自動車等普及
促進対策補助金

市民・事業者向け▶

電気自動車など

E-KIZUNA Project
イーキズナプロジェクト



充電セーフティネットの構築

需要創出とインセンティブの付与

地域密着型の啓発活動



<https://www.city.saitama.jp/001/009/004/001/index.html>

写真：各区役所の防犯パトロールに使う電気自動車



二酸化炭素を減らすために



温室効果ガスのうち、私たちの住・食といった生活により生じるものが3割を占めています。
 私たちが生活の中で工夫をしながら無駄をなくすことで、
 ライフスタイルに起因する二酸化炭素の削減に貢献することができます。

フードドライブに参加しよう！



余った食品をみんなでシェア！ご家庭で食べきれずに余った食品を寄付するフードドライブに参加して二酸化炭素を減らそう！



<https://www.city.saitama.jp/001/006/012/004/p071949.html>

日曜日は食べつくスープ！



余った食材どうしよう？そうだ、スープにしちゃおう！手をつけずに捨てられることが多い「野菜」などの生鮮食材は、スープにして食べつくそう。



<https://www.city.saitama.jp/001/006/006/p064205.html>

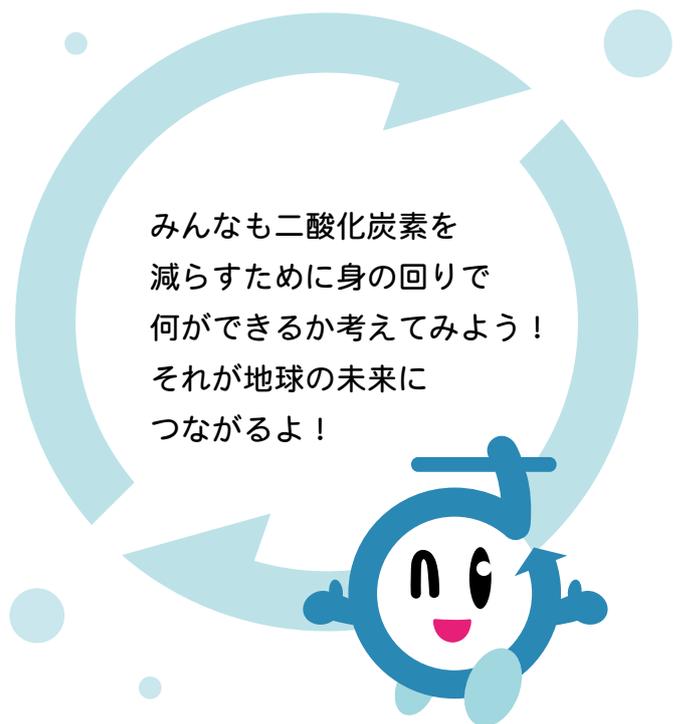
生ごみ処理機の活用



どうしても捨てなければならない食材は生ごみ処理機・処理容器で減量したり、たい肥に活用！購入には補助制度があります。



<https://www.city.saitama.jp/001/006/010/003/p077064.html>
 ※補助金は予算内での実施となるため、今年度終了している場合があります。



みんなも二酸化炭素を減らすために身の回りで何ができるか考えてみよう！それが地球の未来につながるよ！



海洋プラスチックの防止にも繋がる…

みんなの ごみ拾いを 投稿しよう!



さいたま市ではごみ拾いを見える化するため SNS アプリ「ピリカ」と連動したウェブサイト「さいたまごみゼロ 365」を開設しました!



? さいたまごみゼロ 365 ってなに?

SNS アプリ「ピリカ」を使って行われた市内の清掃活動を地図上に表示し、他のユーザーと共有することができるサイトです。拾ったごみの写真を投稿し、「ありがとう」やコメントを送り合い、楽しみながら清掃活動の輪を広げていきます。

? どうやって参加するの?

STEP 1



「ピリカ」
ホームページから
アプリをダウンロード

※登録が必要です。

STEP 2



拾ったごみの
写真を投稿

STEP 3



活動の記録を
入力

STEP 4



他のユーザーの投稿を
チェックし「ありがとう」や
コメントを送り合おう!



美しいとともに
さいたまごみゼロ365
～いつでも・どこでも・誰とでも～

「さいたまごみゼロ365」は、ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用した、さいたま市内のごみ拾い活動を見える化するWEBサイトです。「いつでも・どこでも・誰とでも」を合言葉に、ごみ拾い活動を通して美しいさいたま市の未来を築いていきましょう。

Powered by Pirika

参加人数 1,824 拾われたごみの数 254,454

ユーザー名
コメント

ユーザー名
コメント

ユーザー名
コメント

ユーザー名
コメント

ユーザー名
コメント



詳しくは…

さいたまごみゼロ 365

検索

<https://saitama.city.pirika.org>

さいちゃんの3Rパートナーシップ宣言団体紹介

技術面の開発も大切だが、目の前の3Rにも積極的に取り組みたい



戸田建設(株)が
手掛けた岩槻人形博物館



浮体式洋上風力発電
風車全景 (撮影: 西山芳一)



戸田建設株式会社関東支店

戸田建設株式会社は創業から140年続く歴史ある建設会社、全国各地の様々な建物や工事を手掛け、市内では岩槻人形博物館、大宮公園サッカー場やさいたま新都心にある合同庁舎など、私たちがよく知っている建物の建設にも携わっています。

環境に配慮した技術の開発に積極的で、クリーンエネルギーの一つである浮体式洋上風力発電の開発に取り組むなど、環境貢献に力を注いでいます。また、環境に関する様々な取組や認証にも参加しており、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、環境保全に関する取組みを約束する「エコ・ファースト制度」や気温上昇を一定の水準に抑えるために温室効果ガス排出削減目標を企業が設定する「SBT※」などに参加しています。

さいたま市浦和区にある戸田建設株式会社関東支店は平成23年から「さいちゃんの3Rパートナーシップ宣言」に参加しています。今回、管理部総務グループ課長の折原さんとエコリーダーの濱さんのお二人に社内における3Rの取組について話を伺いました。

※パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。

わかりやすい分別、社員共用のエコバッグ

関東支店で働く社員は約300人、埼玉県や北関東を中心に建設現場の管理や営業、事務を行っており、社員は仲がよいアットホームな職場なので、ごみの減量や分別に関する取組みがしやすいといえます。

事務所を出たごみは量の多い紙類を除き、給湯室にあるごみ箱に社員の皆さん

が分別して捨てています。分別は全部で9種類あり、ごみ箱のラベルがカラフルで見やすいため、新入社員でも分別はしっかりできるそうです。

給湯室の脇には社員が共用するエコバッグが置いてありました。社員なら誰でも利用でき、買い物などに行く際に重宝しているそうです。



分別の種類が分かりやすい

改装工事をきっかけに紙のデータを電子化

ちょっと前までは建設会社なので、図面や事務関係の書類など様々な場面で紙が使用され、紙のごみが多かったといえます。ところが昨年5月に行った関東支店の改装工事をきっかけに、保管していた図面や書類の紙データを電子化させました。他にもタブレット端末の導入やメール・電子掲示板の活用、社内便による封筒削減等に取り組んだ結果、わずか半年で2割近い量の紙を削減することができたそうです。

また、エコリーダーワーキングがあり、関東支店では話を伺った濱さんを含め、5名の社員がエコリーダーとして活動し

ています。エコリーダーが中心となって行う活動の一つに「ごみゼロ齊清掃活動」があります。この活動は年2回、支店前の歩道や植込みを中心にごみ拾いや清掃を行うものです。

他にも災害被災地の図書館へ不用になった書籍の寄附、事務用品のリサイクルなど、関東支店では社員それぞれが3Rに取り組んでいます。こうした3Rの取組を通じて、自分達の目の前でできることにもしっかりと目を向けて取り組んでいきたいという企業の姿勢がしっかりと伝わりました。



使用済みの封筒を
社内便の再利用封筒
として活用



取材に協力いただいた折原さんと濱さん



資源回収やバザー開催、3Rで結ぶ地域の絆

さいたま市緑区旭ヶ丘自治会



町内美化活動の様子

さいたま市緑区、見沼んぼを望む高台に位置する大牧地区。ここは、春には桜並木が鮮やかにピンクの回廊を作る見沼代用水や、夏には木々の呼吸が聞こえてきそうな緑濃い大牧自然緑地等に隣接し、原風景でもある見沼んぼと合わせ自然豊かな環境の地域です。

旭ヶ丘自治会のあるこの地域は、開発された当初はわずか4軒の住宅しかなかったそうですが、それから80年近く経った現在は住宅が増え、自治会も325世帯が加入する大所帯となりました。

自治会活動は、全ての世代の住民が楽しみながら様々な行事等が行われているようですが、中でも環境に関する活動には特に力を入れているとのことで、平成21年度にできた『さいちゃんの3Rパートナーシップ宣言』も旭ヶ丘自治会は当初から参加いただいています。

今回、自治会長の新村能溥人さんと環境部長の高野國弘さんのお二人にお話を伺いました。

コロナ禍でも3Rに挑戦

「この地域の皆さんは、世代を問わずいつも元気よく挨拶を交わしています。この地域を訪れる方々は、住民同士のコミュニケーションがよく取れていることに皆さん大変感心されています…」と、高野さんは笑顔で語ってくださいました。

様々な行われる旭ヶ丘自治会の年間行事の中でも、避難訓練の後に行われる“ソーメン流し”は、竹を切り出すところから自分たちで行う手作り行事で、子供はもとより大人も歓声をあげ毎年皆さんが楽しみにしている行事だそうです。

また、今年88歳になる新村会長は、今でも自身でパソコンを駆使し自治会報を作られているそうで、年に3~4回発行される自治会報はA3紙両面に会員の寄稿文から作品紹介まで様々な記事がびっしりと掲載されており、読み応え十分でした。

自治会活動や行事を通じ、住民同士の繋がりが強い旭ヶ丘自治会では、環境活動には特に力を入れているようで、新村会長は次のように語ってくださいました。

「自治会では、3Rを意識した活動を

行っています。リサイクル活動として、毎月の古紙回収や高齢者親睦会の行うアルミ缶リサイクルを行っています。また、リユース活動として、旭ヶ丘バザーを実施しました。コロナウイルス感染症が流行してきてからは、大規模なバザーの代わりに不用品交換を自治会報で呼びかけましたが、これは不発でしたね(苦笑)。リデュース活動としては、自治会報でごみの減量の意義を解説して啓発を行ったり、マイバックを配布したりしています。この他にも『なごみ花壇』を置いて環境美化活動を行ったり、町内美化活動として毎月周辺のごみ拾いを行ったりして、住民の皆さんにも環境意識が広がっています。」

自治会が率先して地域の環境意識を高めていらっしゃる旭ヶ丘自治会。環境活動だけでなく、住民の皆さんが楽しく交流し郷土への愛着を深める様々な活動が3Rパートナーシップ宣言活動など長く続けてこられた秘訣なのでしょう。これからも環境先進自治会として楽しみながら3Rに取り組んでいきたいと思いました。



自治会報はA3両面びっしり



旭ヶ丘自治会新村会長(右)と環境部長の高野さん



資源物回収の様子

たったひとつの間違いが 市民生活に影響する 事故になる…

●本市におけるリチウムイオン電池が原因と思われる発火件数

	収集車両	施設	合計
令和2年度	2件	30件	32件
平成31年度	0件	16件	16件
平成30年度	1件	15件	16件



ごみ収集車 1 台 2000 万円…

写 真のごみ収集車の火事の原因はリチウムイオン電池だった。リチウムイオン電池や使用製品は圧迫などにより破壊されると、発熱し発火する。

そのため、さいたま市ではリチウムイオン電池を捨てる場合は電気店の店頭回収や区役所等に設置している小型家電回収ボックスを利用することとし、家庭ごみの収集所には出すことができない。

しかし、リチウムイオン電池がもえるごみやもえないごみとして捨てられたことが原因と思われるごみ収集車やごみ処理工場での火災が後を絶たない。ひとたび収集車が火事になると、その車両でのごみ回収ができなくなる。また、ごみ処理施設で火災が発生してしまうと、消火や原因特定が終わるまで、その施設ではごみを受け入れることができなくなる。施設の修理が必要なほどまで被害が大きいと、長期間にわたりごみを処理することができなくなるため、市民生活に大きな影響を及ぼすことも考えられる。たった1個の電池、でもその1個の電池が引き起こす事故の被害は甚大である。



<https://www.city.saitama.jp/001/006/001/p067906.html>

発火したリチウムイオン電池



⚠ リチウム電池が使われている製品例

- ・スマートフォン
- ・電子たばこ
- ・電動カミソリ
- ・電動歯ブラシ
- ・ハンディファン 等

もえるごみ？ もえないごみ？ もう捨て方で迷いません。



さいたま市 ごみ分別アプリ

ごみ分別アプリは外国語に対応しています。



問合せ先 資源循環政策課 TEL 048-829-1338 FAX 048-829-1991

▼ 捨て方に迷ったら、ごみ分別辞典を使ってみよう。



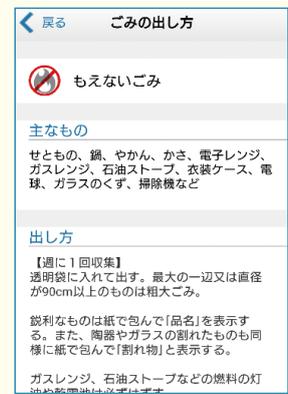
1 左上をタップしてメニューから「ごみ分別辞典」を選ぼう。



2 調べたい品目を検索しよう。



3 ごみの分別が分かります。



4 分別をタップするとごみの出し方も分かります。

企画・発行

さいたま市環境局資源循環推進部廃棄物対策課

TEL 048-829-1335 FAX 048-829-1991

発行日 2022.2.22

みなさまからのご意見感想などを
お待ちしております。

haikibutsu-taisaku@city.saitama.lg.jp

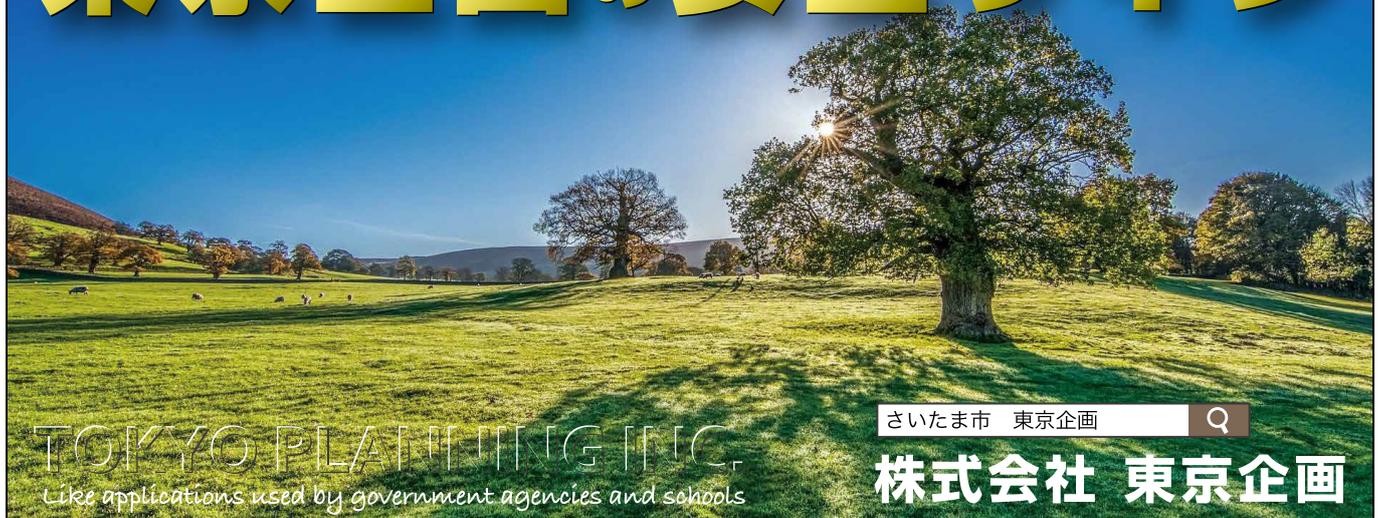


広告

官公庁・学校専門

ニーズに対応した地域特化のサイントータルプロデュース
啓発活動向けノベルティグッズ・オリジナルグッズ製作

東京企画の安全サイン



さいたま市 東京企画

株式会社 東京企画



3M™ MCST™
保証プログラム 認定店

※3M、MCSは3M社の商標です。



さいたま市大宮区櫛引町1-703-6
TEL: 048-652-7991

弊社ホームページへ



※当パンフレットの作成費用の一部はこの広告収入によって賄われています。
※この環境通信は7,000部作成し、広告収入を差し引いた市の負担は一部あたり、40円です。

